

令和5年度策定 植木校区社協行動計画書

基本理念	基本目標	分野	福祉課題	福祉課題の実情	具体的な取り組み	校区社協としての取り組み		
健康で安全安心 住み良いまち 植木校区	共に支え合い、いきいき暮らす	高齢者について	高齢者の孤立防止と社会参加	・地域行事を開催するにも世話をする人が減ってきている	・校区内の行事に協力してもらおうボランティアを募集する	・校区社協サポーター登録の仕組み作り		
				・高齢者が気軽に集える場所が少ない	・地域の誰もがいつでも気軽に集い、交流できる地域の拠点を開設する		・地域のふれあい交流拠点「縁がわ」の設置	
				・人との接触を好まない高齢者への声かけが難しい	・PTAと連携し世代間交流ができるイベントを開催する		・校区内の各種団体と連携したイベントの企画開催	
			高齢者の体力維持と健康問題	・外出機会が減少し体力維持が難しい	・植木健康福祉センターかがやき館を活用する	・かがやき館及びふれあい・いきいきサロンを活用した健康増進について社協だよりへ掲載		
				・自らの健康や体力維持に関心が薄い人が多い	・ふれあい・いきいきサロンの活動内容を周知する			
			認知症高齢者への理解	・認知症高齢者への接し方が分からない	・認知症に対する理解を深めるため学習する機会を設ける	・地域包括支援センターと連携した学習会の開催		
				・認知症に対する知識が乏しい	・認知症についての相談窓口、相談機関を把握する	・認知症についての相談窓口・相談機関の情報発信		
			交通（移動）手段	・免許返納後の移動手段の確保が難しい	・AIデマンドタクシーの利用を要望する	・AIデマンドタクシーについて先進地の情報収集及び共有		
				・買い物、通院が不便な地域がある	・電動自転車の活用を推奨する	・企業と連携し電動自転車の種類や機能を学ぶ展示会を開催		
			地域全体で見守ろう	障がい児・者、子どもについて	障がい児・者に対する理解	・障がい者に対する知識が乏しく、接し方がわからない	・障がい者に対する理解を深めるため学習する機会を設ける	・障がい者相談支援センターと連携した学習会の開催
						・個人情報の問題があり情報把握が難しい	・放課後デイサービス等、利用できる機関の情報を把握する	・放課後デイサービスや相談機関等の情報発信
					子ども、子育て世帯の見守り	・通学路でスピードを出す車が多い危険箇所がある	・子どもに関わる危険について地域全体での検討が必要である	・登下校の危険箇所の把握と整理
	日頃から備え助け合おう	災害・防災について	平常時における災害の備えと体制づくり	・避難訓練ができておらず大きな災害が起きた時に不安がある	・校区避難訓練の実施、校区内連絡調整の仕組みを構築する	・自治協議会が中心となって取り組む校区避難訓練及びエリアごとのハザードマップ作成に協力		
				・要配慮者がどこにいるか把握できていない	・要援護者登録者名簿を活用し情報共有を図る		・民生委員と自治会長で要援護者の情報を共有するネットワーク会議を開催	
	災害時における支援	・災害時に要配慮者の支援ができるか不安がある	・避難所運営委員会を立ち上げると共に指定避難所を周知する	・見守り対象者への指定避難所の周知				
	快適な環境づくり	暮らしについて	ゴミ、空き家問題	・ゴミ出しルールが守られていない	・ゴミ出し困難者の支援に向けたルールをつくる	・ゴミ出し困難者及び空き地の所有者の状況（長期入院、入所等）について自治会との情報共有		
				・空き家の雑草、樹木の枝が道路にかかり通行の妨げになる	・自治会で所有者へ連絡及び対応の確認を取る			
			地域役員のなり手不足	・民生委員のなり手がいない	・民生委員の地域活動への負担を軽減する	・ふれあい・いきいきサロンリーダーを民生委員以外から発掘		
				・世帯数が少ない町内や高齢者が多い町内が欠員とならないように担当エリアを分ける	・世帯数を踏まえた上で地域の実情に応じた選出区分または担当エリアを市へ提案			
	・さまざまな地域団体があるがそれぞれの活動内容がわからない	・若い世代に地域行事や各種団体の活動内容を知ってもらう	・PTAと連携しSNSを活用して行事やボランティア募集について若い世代へ情報を発信					